

タブレットPC スタート book



この冊子^{さっし}は、最初にタブレットを使う時や
こま^{こま}困ったときに使うものです。大切に保管^{たいせつ ほかん}
しておいてください。

大田区立 小学校






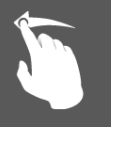
年 組

名前 ()

※ この冊子^{さっし}は、学校^{がっこう}のタブレット画面^{がめん}などを撮影^{さつえい}して、つく^{つく}っています。無断^{むだん}でコピーしたりしてはいけません。

0. タブレットの用語

操作に関する用語

 <p>タップ</p>	<p>がめんを 1 回おします。</p>	<p>タップした項目を開いたり、えらんだりします。</p> <p>マウスでクリックするのとおなじです</p>
 <p>ダブルタップ</p>	<p>がめんをすばやく 2 回おします。</p>	<p>ソフトを「きどう」するときに使います。</p> <p>ダブルクリックとおなじです。</p>
 <p>長押し</p>	<p>指を押つけて約 1 秒間そのままにします。</p>	<p>項目の詳細情報が表示されるか、メニューが開きます</p> <p>マウスで右クリックするのとおなじです。</p>
 <p>ピンチ (ピンチイン)</p>	<p>2 本以上の指で指を互いに近づけます。</p>	<p>表示が小さく縮小されます。</p>
 <p>ストレッチ (ピンチアウト)</p>	<p>2 本以上の指で指を互いに遠ざけます。</p>	<p>表示が大きく拡大されます。</p>
 <p>スライド</p>	<p>画面上の一点を指先で軽く押さえ、そのまま離さず、画面上をなぞるように動かします。</p>	<p>画面の表示内容を移動「スクロール」させたり、押さえた項目の「移動」「並べ替え」などをおこなったりします。</p> <p>マウスでドラッグ (左ボタンを押したままマウスを移動) するのとおなじです。</p>
 <p>スワイプ</p>	<p>画面上の一点を指先で軽く押さえ、そのまま離さず、画面上をすばやく、短く、動かします。</p>	<p>押さえた項目を移動させたり、画面の端に隠されたメニューを引き出したり、引っ込めたりします。</p>

1. 電源の入れ方、切り方、キーボード操作

電源の入れ方

天板を開くと自動的に電源が入ります。

※天板を開いた状態で電源を入れたい場合は、

キーボードの右側の電源ボタンを押すと電源が入ります。



電源の切り方

天板を閉じると自動的に電源が切れます。

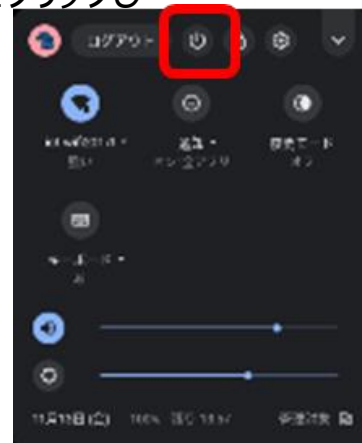
※天板を開いた状態で電源を切りたい場合は、ステータストレイ

(ディスプレイ右下の時計などが表示されている小窓) をクリックし

てメニューを表示させます。



電源のアイコンをクリックすると電源が切れます。



2.Chromebook のキーボード

がっこうで使用するChromebookは、今まで使っていたパソコンと、キーボードの配列が違います。(WINDOWSマシン→「JIS配列」Chromebook→「US配列」)
 少しずつ慣れていきましょう。

【Chromebook キーボード】



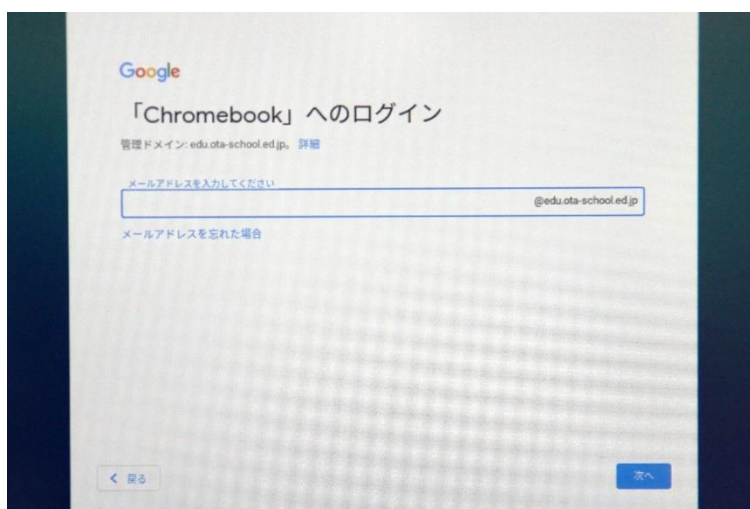
ばんごう 番号	そのキーの役割	ばんごう 番号	そのキーの役割
1	まえ 前のページにもどる	7	おんりょう ちい 音量を小さくする
2	つぎ 次のページに進む	8	おんりょう おお 音量を大きくする
3	いま 今のページをもう一度読み込む	9	にほんご えいすうもじ きか 日本語と英数文字の切り替え※1
4	がめん くら 画面を暗くする	10	シフトキー おな Shiftキーと同じ
5	がめん あか 画面を明るくする	11	ひとつまえ もじ を け 一つ前の文字を消す
6	おと だ 音を出さなくする	12	ランチャーが開く

※1 配られた状態では日本語はローマ字入力です。(カナ入力にも変更されます。先生に聞きましょう。)

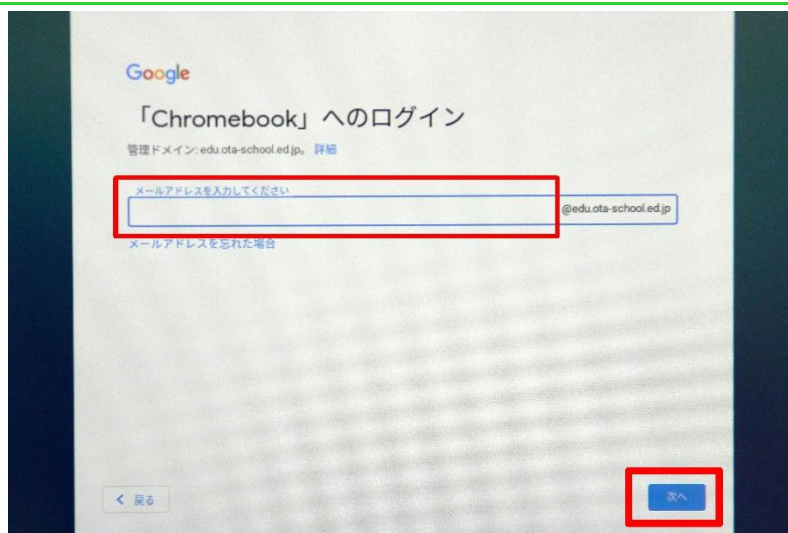
※2 カーソルの上の文字を消すときは⑫をおしながら⑪をおします。

3.ログインする(初めての^{はじ}ばあ^いい)

① ^{てんぱん ひら}天板を開く(つぎの^{がめん}画面が出る)



② ^{じぶん}自分のIDを^{アイディー}入力して、^{にゆうりよく}「次へ」を^{つぎ}クリック。

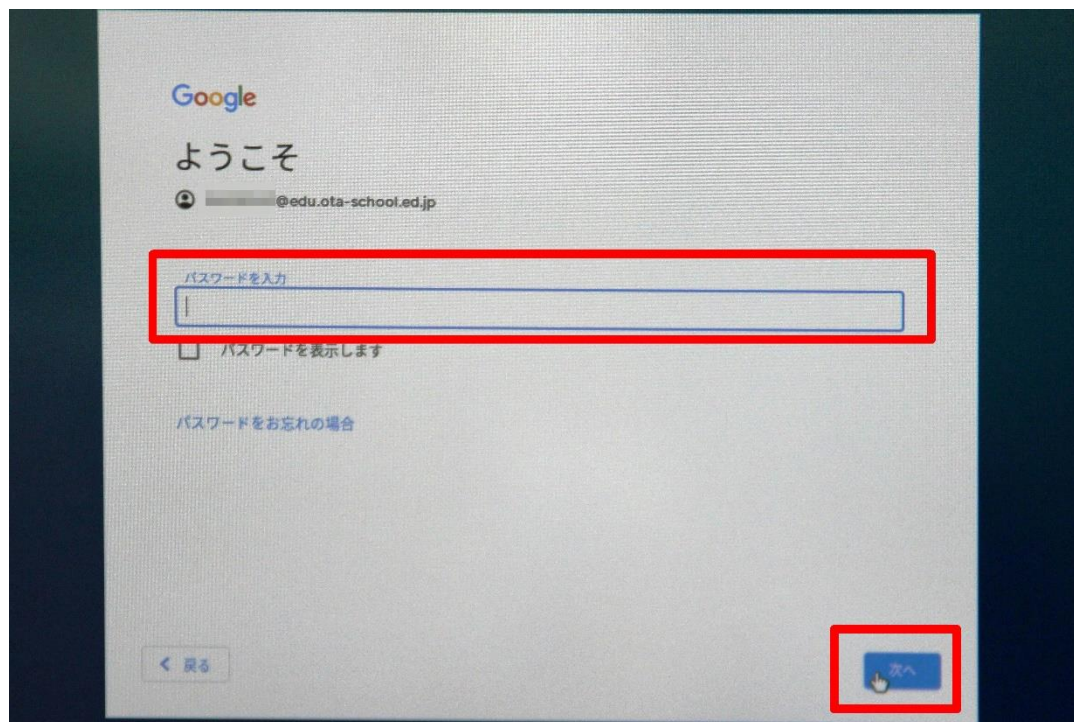


メモ

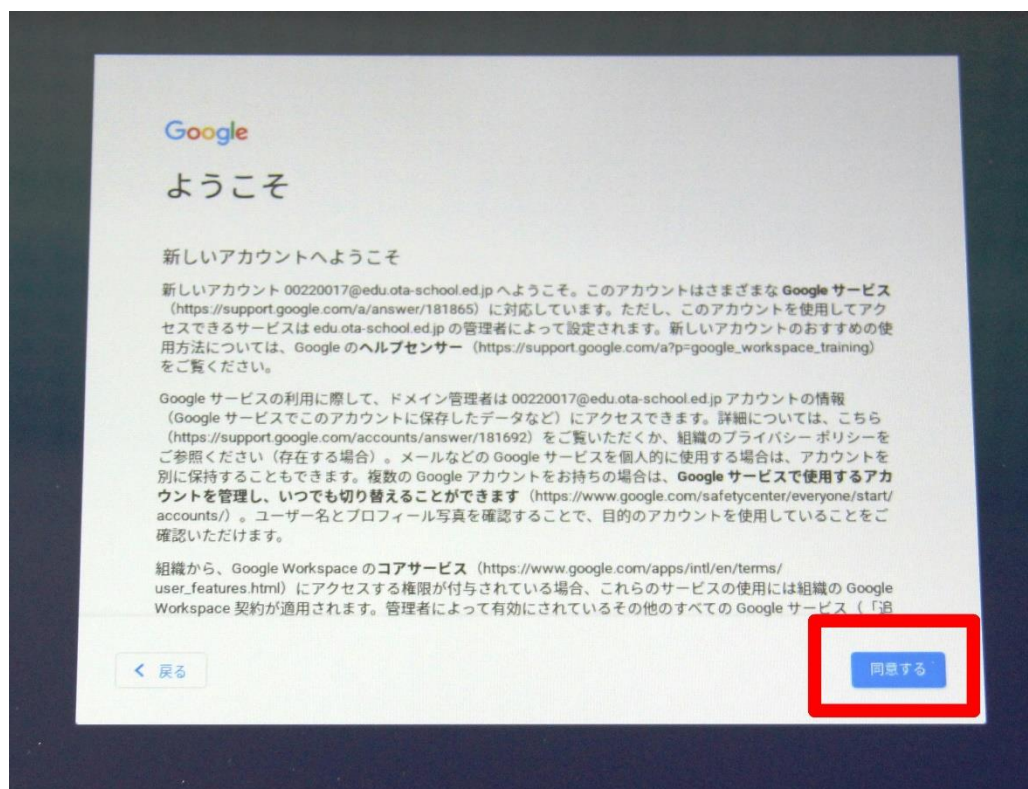
この画面で「@edu.ota-school.ed.jp」が出てこないときは、これも^{にゆうりよく}入力するか、一度^{いちど}電源^{でんげん}を切ると出てくるようになります。

タブレットPCの使い方簡易マニュアル

- ③ ^{じぶん}自分のパスワードを ^{にゆうりよく}入力して「^{つぎ}次へ」をクリック。

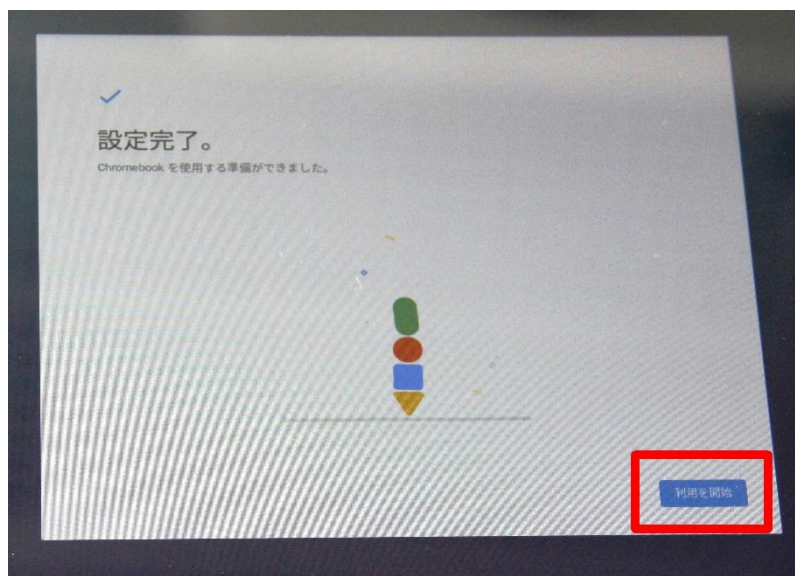


- ④ 「ようこそ」の画面が ^{がめん}出てくるので、「^{どうい}同意する」をクリック。

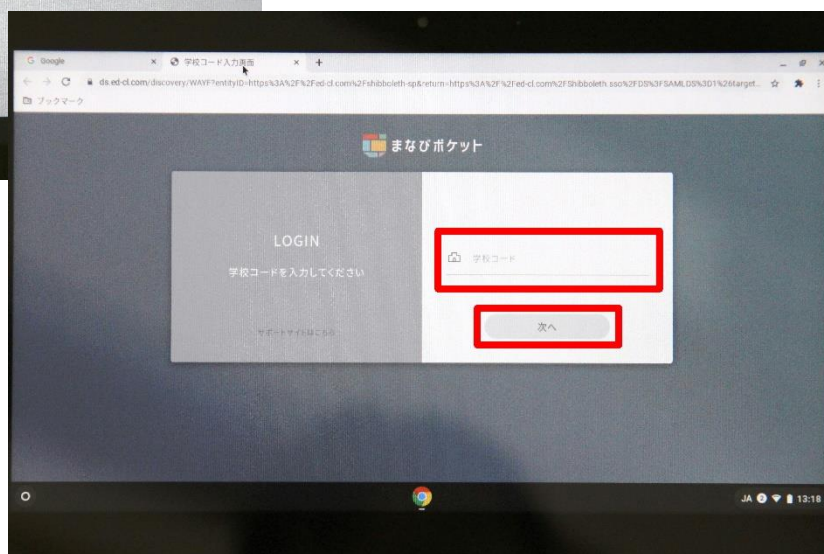
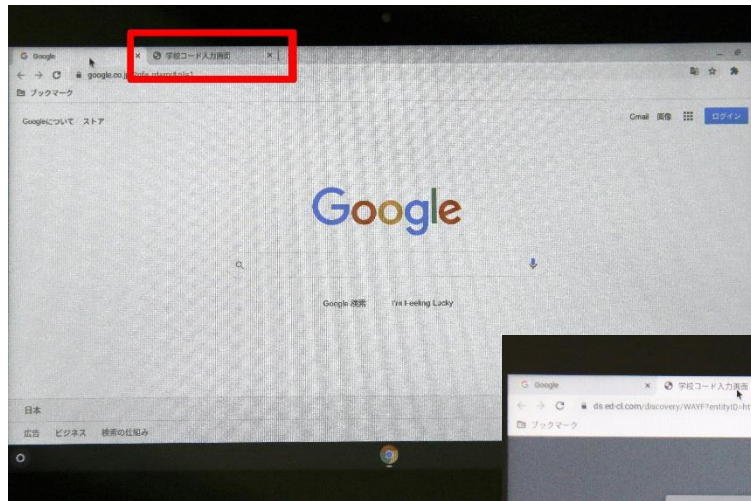


タブレットPCの使い方簡易マニュアル

- ⑤「^{せってい}設定完了」の画面が出てくるので、「^{りよう}利用を開始」をクリック。

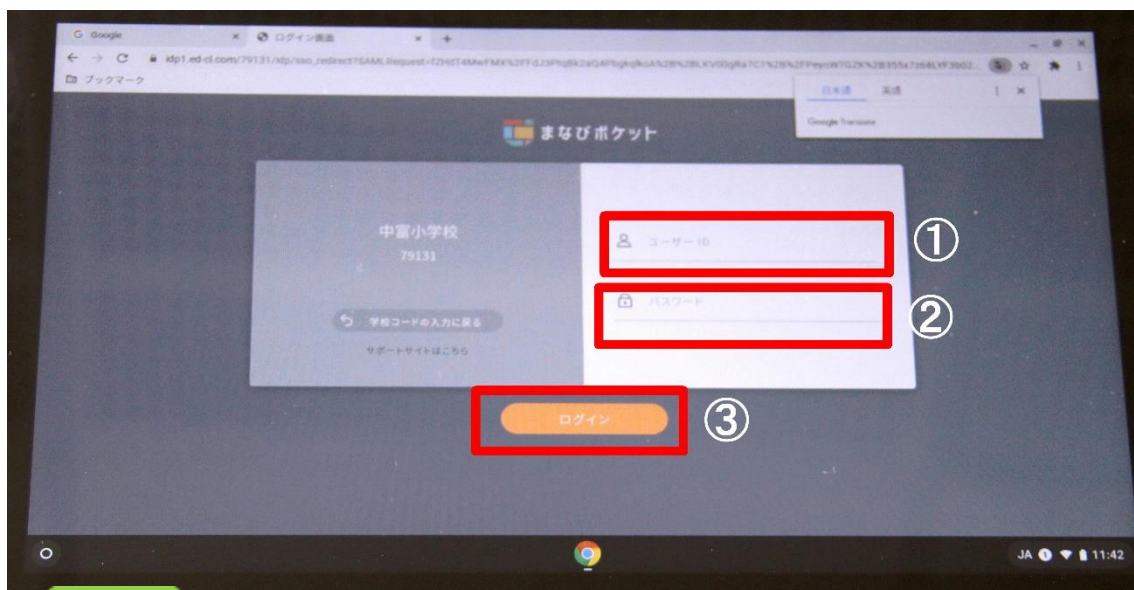


- ⑥ ^{がっこう}学校コード入力画面の^{にゅうりよく}タグをクリックし、^{まなび}まなびポケット画面から^{がっこう}学校コード入力して^{つぎ}次へ。



タブレットPCの使い方簡易マニュアル

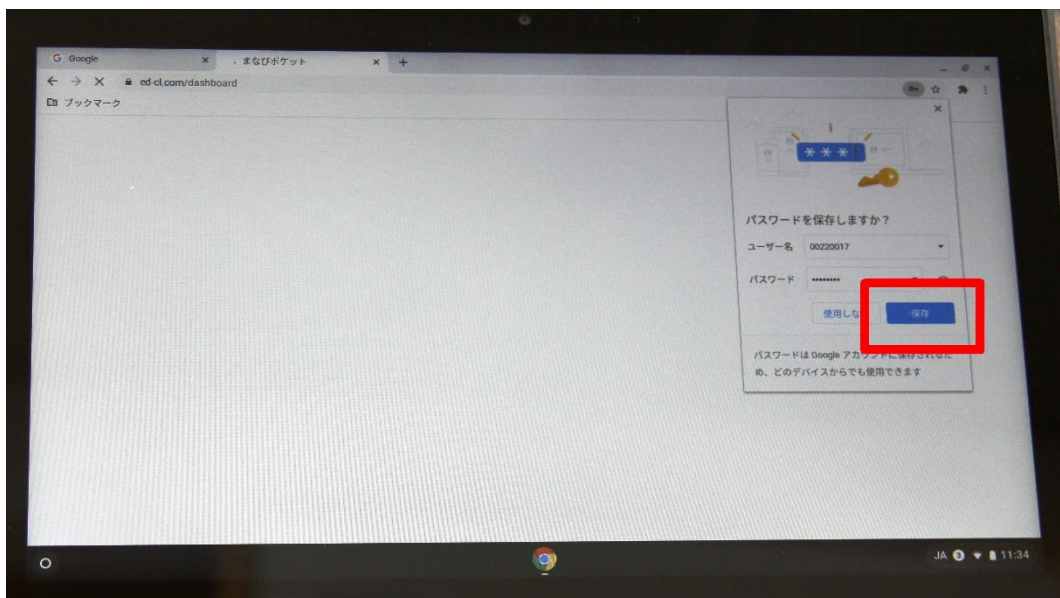
⑤まなびポケットのID・パスワードを入力してログイン



メモ

ここで、下の様にパスワードの保存が求められます。今回は、保存をおすすめします。

(保存しない方がいいときもあるので、注意しましょう。)

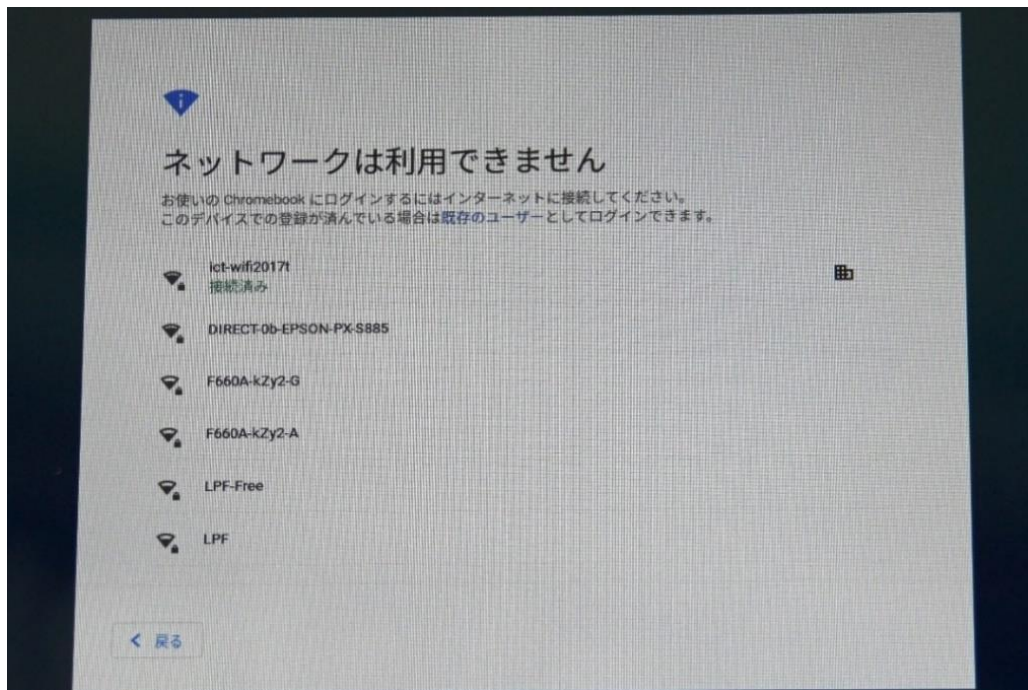


これで、最初のログインは終わりです。

タブレットPCの使い方簡易マニュアル

メモ

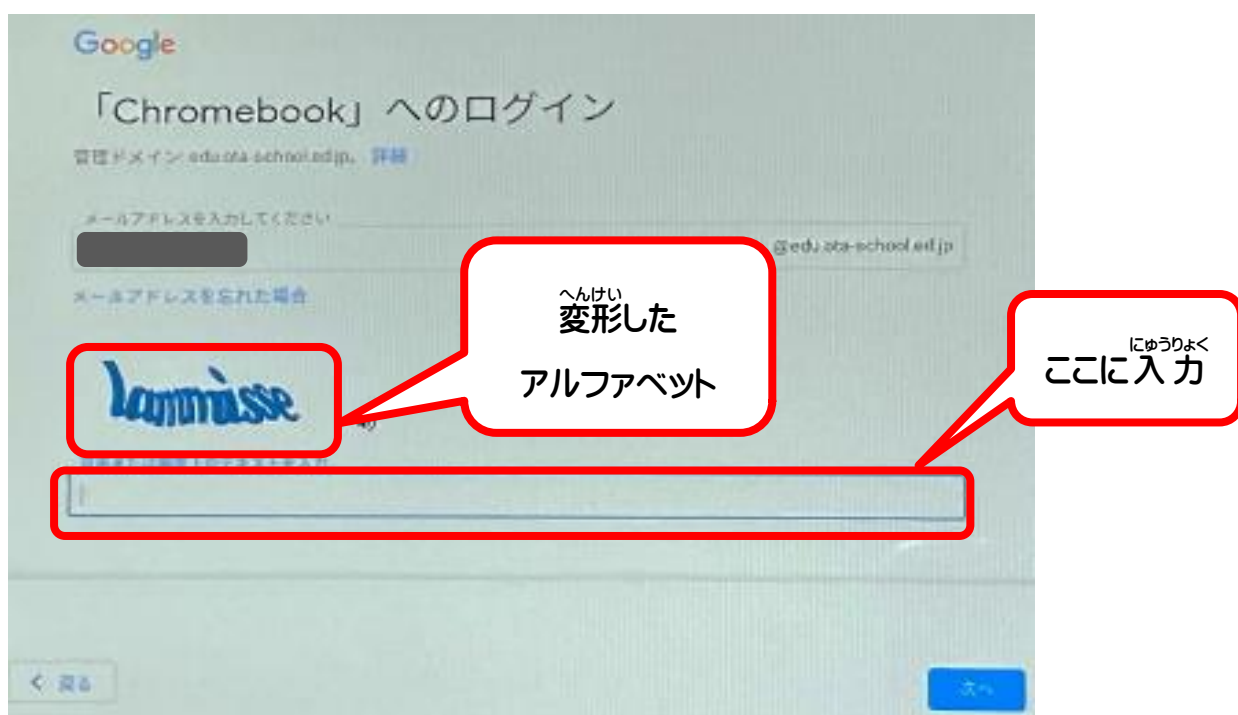
さぎようちゆう ^{した} よう ^{がめん} で ^{ばあい}
作業中、下の様な画面が出た場合は、ネットワークにつながるまで、
ようす ^{でんげん}
様子をみます。あわてて電源を切ったりしないでください。
(^{じょうきよう} ^{かいふく} ^{ばあい} ^{せんせい} ^{つた}
状況が回復しない場合は、先生に伝えてください。)



- ※ ^{こうない} ^{ない} ^{いちど} ^{つか}
校内やクラス内で、一度にたくさんのタブレットを使っ
ていると、よく^お ^{げんじょう}起こる現象です。
しばらくの^{あいだ} ^{つか} ^{じかん}間は、使う時間をずらすなどするとよいかも
しれません。(早く^{はや} ^{おわ} ^{ひと}終わった人は、タブレットを閉じてあげ
るとつながりやすくなります)

メモ

おなじ ID で複数のパソコンで Chromebook にログインした
ときなど以下の画面のように変形したアルファベットの入力
を求められることがあります。



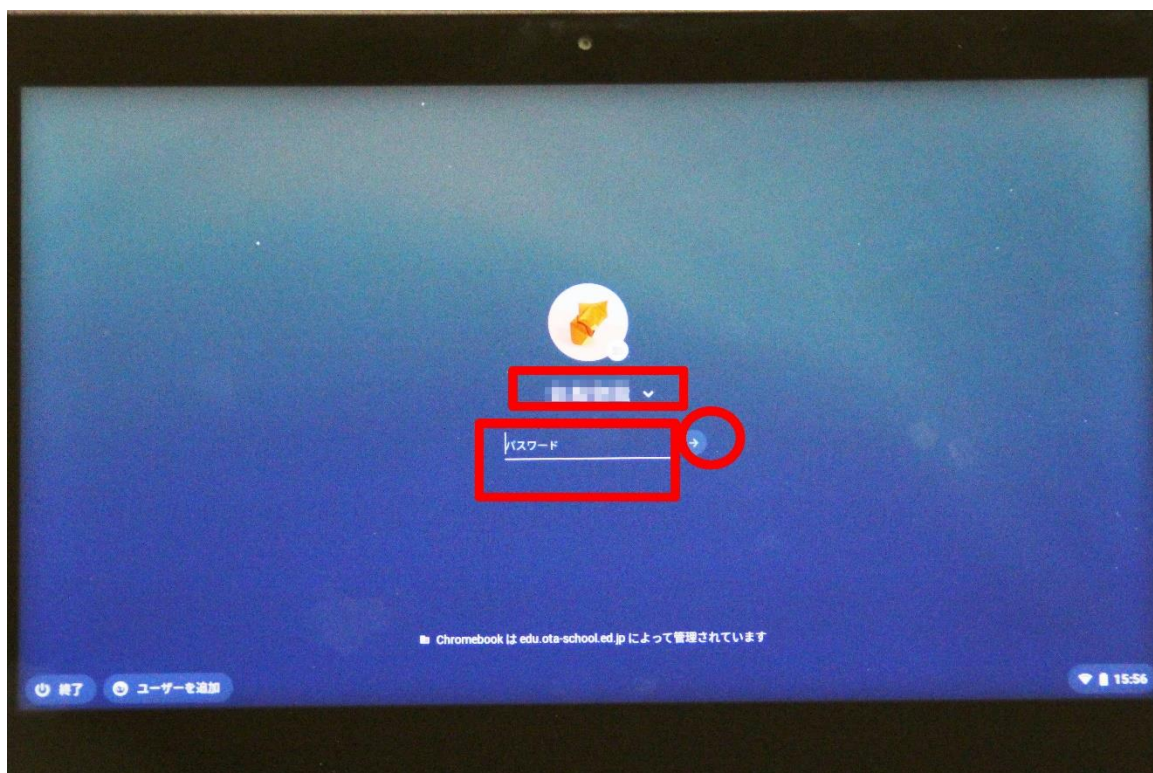
読みづらいので、まちがえてしまうこともあります。その場合は、別の
文字が出てくるので、繰り返してください。

メモ

かいめいこう てんばん ひら つぎ がめん
2回目以降は、天板を開くと次のような画面が出てきます。

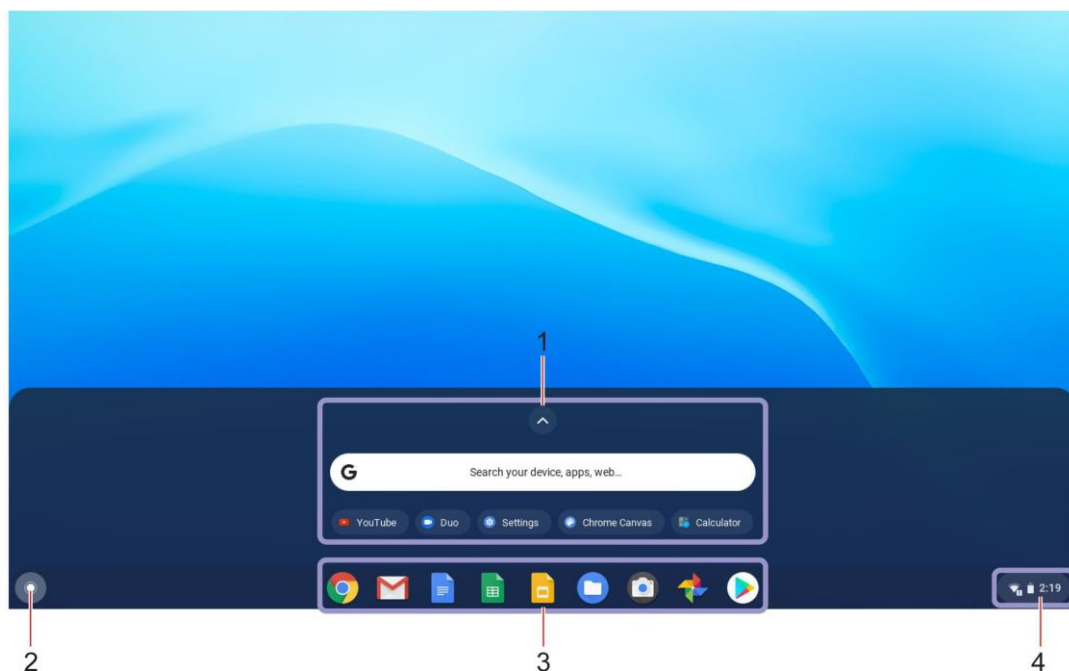
じぶん なまえ で かくにん
自分の名前が出てきていることを確認しましょう。

パスワードを入れて「⇒」をクリックすれば、ログインができます。



じどう でんげん は ばあい みぎがわ でんげん
自動で電源が入らない場合は、キーボード右側の電源
ボタンをおしててください。

4.Chromebook基本画面



- 1 検索ボックスとアプリ・ランチャー
検索ボックス
・ アプリ・ランチャーに表示されるアプリをクリックすると、すぐにアプリが開きます。
- 2 ランチャー・ボタン
検索ボックスとアプリ・ランチャーを開きます。
- 3 シェルフ
・ アクセスしやすいように頻繁に使用するアプリや Web ページをシェルフにピン留めできます。
- 4 システム・トレイ
・ ネットワーク接続状況、バッテリー状況、時刻が表示されています。

5.まなびポケットの使い方(基本)

1【ホーム画面】



①アプリ

いろいろなアプリケーションがあります。先生の指示で、使います。自分で、自由に進めていってよい場合もあります。(担任の先生の指示にしたがいましょう)

※それぞれの使い方は、授業で習います。

②お知らせ

担任の先生や学校からのお知らせがとどきます。クリックすると、内容
を見ることができます。

※クリックすると「チャンネル」画面が、表示されます。しばらくは、子ども
は、先生や学校からの連絡を読むだけにしてください。
勝手にメッセージを書き込んだり、ファイルを投稿したりしては、いけません。

2 【チャンネル】

担任の先生からのメッセージや宿題が見られるところです。先生やクラスの
友達とメッセージのやりとりができます。

※しばらくは、自分でメッセージの書き込みはしません。

自分でメッセージを書き込めるようになったときは、ルールを守って、
人の悪口などは、絶対に書いてはいけません。

3 【ストレージ】

データのやりとりができる場所ですが、しばらくは使いません。

4 【ログ】

自分の学習の記録や、メッセージの書き込み記録などが見られます。

この記録は、先生も見ることができます。